

令和5年2月15日 第86号

好地地区まちづくり委員会
総務企画部会

〒028-3101 花巻市石鳥谷町好地 8-78-3
(石鳥谷国際交流センター内)
問合せ・申込み 窓 0198-45-6639
(好地振興センター内)

好地まちづくりだより



お知らせ！【酒蔵まつり冬の陣 鍋まつり N-1 グランプリ】開催します

酒蔵まつり実行団体協議会

今回の「酒蔵まつり冬の陣鍋まつりN-1グランプリ」は、コロナウイルス感染症拡大防止のために、ピバハウスいしどりや内での開催は難しいので、秋の陣と同様に屋外（酒蔵交流館、宝峰跡地）で開催します。あったかい鍋を用意しますのでお楽しみください。また、おいしい鍋の投票も行いN-1グランプリを選出します。

今年の企画は、わがままボディパフォーマー『キャミソウルブラザーズ』のパフォーマンスと、全品食レポしまSHOW～！とで会場を盛り上げてくれます。楽しい会場になること間違いなしです。皆さんの来場お待ちしております

いつ？ 3月19日（日）

何時から？ 午前11時～午後2時

どこで？ いしどりや酒蔵交流館・宝峰跡地

キャミソウルブラザーズのパフォーマンス（令和2年 in ピバハウス） グランプリ表彰 新亀家さん（令和2年 in ピバハウス）

参加予定の鍋

鯛シャブ鍋 牛スジ鍋 黒胡麻のチゲ鍋 牛すじ塩だし鍋 博多もつ鍋 南部ひつつみ鍋
熊鍋 おでん鍋 紫あ波せ鍋 ワインゼリー鍋 濃厚エビ出汁海鮮鍋 肉だんご入りキムチ鍋
BEER鍋 そば屋の出汁鍋 和食屋の作るもつ煮 本日のカレー鍋 佐藤のホル鍋 等々

セカンドメニュー

焼き鳥 クレープ 焼き菓子 お弁当 たこ焼き 焼きそば 唐揚げ 納豆 ジャンボたこ焼き
トルネードポテト クロッフル お豆腐 ラザニア もちもちポテト シフォンケーキ 木工品
ハンドメイド作品

※詳しくは、3月4日に地域内の岩手日報折込みチラシをご覧ください。

※今後の感染症拡大の状況によっては、中止とする場合もありますのでご了承ください。

参加者募集【いきいき健康づくり教室 軽スポーツ教室】

保健福祉部会

どなたでも参加できる軽スポーツを通じて、いきいき健康づくり教室を行います。
今回は、前回好評だった【ボッチャ】と【軽体操】の軽スポーツ教室をもう一度開催します。
運動量も少なく、攻防戦に意外とはまることまちがいありません。
コロナ感染症対策のために事前申し込みが必要です。皆さんの参加お待ちしております。

○日 時：3月16日（木）午前10時～11時30分

○場 所：石鳥谷国際交流センター 1階ホール

○定 員：15人（好地地区民）

○参加費：無料

○講 師：永井紳逸さん（八幡地区在住）

○申込み：3月9日（木）までに（電話可）

○持ち物等：運動しやすい服装、マスク、汗ふきタオル、飲み物等

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない場合は、14日に参加者の方々に連絡しますのでご了承ください。

ご注意！【雪による事故を防ぐために】

花巻北消防署 45-2119

本格的な降雪シーズンを迎え、全国的に雪による事故が多数発生しています。雪による事故死亡者の多くは除雪中の事故が原因で亡くなっています。除雪作業は、屋根からの転落や落雪、水路等への転落、除雪機の事故、また、寒い屋外での重労働により心筋梗塞を発症するなど多くの危険が伴います。

命にかかわる除雪事故に遭わないために、以下の点に注意して除雪作業を行うようにしましょう。

～命を守る除雪中の事故防止10箇条～

- ①作業は家族、隣近所にも声かけて2人以上で！
- ②建物の周りに雪を残して雪下ろし！
- ③晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんでいる！
- ④はしごの固定を忘れずに！
- ⑤除雪機の雪詰まりの取り除きは、エンジンを切ってから！
- ⑥低い屋根でも油断は禁物！
- ⑦作業開始直後と疲れたところは特に慎重に！
- ⑧命綱とヘルメットは忘れずに！
- ⑨命綱、除雪機などの用具はこまめに手入れ・点検を！
- ⑩作業のときには携帯電話を持っていく！

部会員コラム【「徳川家康」全26巻】

NHK大河ドラマ「どうする家康」が始まるのを契機に、父の遺した「徳川家康」を読んでみた。

昭和40年代に発行されたもので、全26巻、二段組で細かい字が並んでいる。最初の主要人物は家康の祖父、次いで父、母との夫婦の物語、やっと竹千代（家康の幼名）誕生するも、話の中心は生き別れになる母である。大河ドラマでは第一話から金の甲冑を着た主演の松本潤が戦に出ていた。

現在、第3巻に入ったばかり。今川家で人質生活を送る竹千代11歳。まだまだ先は長い。

徳川家康の遺訓「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。」を心掛け、12月までには読破したいと思う。

その頃にはコロナ禍も収束していることを切に願う。